

中央ブロック自治会シンポジウム

築瀬地区におけるマンション住民の 自治会加入促進について

～マンション新築時における
自治会加入促進の取り組みについて～

令和8年3月13日（金）
築瀬地区連合自治会
会長 栗原伸一

1 築瀬地区の概要

◆位置図



◇地域特性

- 北部はJR宇都宮駅西口を中心とする市街地再開発事業により、マンションやテナントビル等の建設により賑わいが創出。生活の利便性が高く、電車で首都圏へ通勤する住民もみられる。
- 南部は中央卸売市場を中心に事業所等が密集。宅地開発による住宅地が存在する。
- 築瀬地区は南北に広がる形状。西側には田川が流れているが、令和元年の台風19号の際には田川が溢水し、築瀬地域に水害を及ぼした。

1 築瀬地区の概要

◇面積 : 2.41 km²

◇人口 : 12,263人

《性別人口》

■男性 : 6,385人

■女性 : 5,878人

《年齢別人口》 ※〔 〕内は構成比(%)

■ 0~14歳 : 1,324人 [10.8%]

■ 15~64歳 : 8,406人 [68.5%]

■ 65歳以上 : 2,533人 [20.7%]

◇世帯数 : 7,037世帯

◇外国人住民数 : 1,232人

【男性 : 588人 女性 : 644人】

※令和6年10月1日現在(人口, 世帯数等)

◇自治会について

■単位自治会数

26自治会

■自治会加入世帯数 1,916世帯

※令和7年4月1日現在

2 地域の特徴的な取組み

◇自主防災会の取組みについて
～田川流域における台風19号
の被災状況図の作成・掲示～

- ・ 築瀬地区の広報部員が、被災当時に地区内をくまなく歩き、記録した写真を浸水区域とともに示した地図とともに写真でわかりやすく示したもので、現在もコミュニティセンターの2階に掲示している。
- ・ 利用者や子どもたちに実際の被害を理解し忘れることのないよう作成した。



2 地域の特徴的な取組み

◇大学生・高校生と連携した文化祭の開催

・地域の大学と連携した事業の計画や、地域在住の大学生・高校生にボランティアスタッフとして参加していただき、継続的な運営体制を構築するとともに、子どもからお年寄りまで全ての世代が楽しめる内容の文化祭としている。

・地域の大学・地元大学生・高校生・地域住民ボランティア、自治会、まちづくり組織が連携した事業実施による一体感が生まれている。

《バーベキュー》



《大谷石のピザ窯》
大学生が企画・設置

3 JR宇都宮駅周辺の現状 ～マンション増加の背景について～

◇JR宇都宮駅西口について

- ・ JR宇都宮駅の西口地区については、市街地再開発事業により大規模マンションが多く建設されている。
- ・ ライトラインの西側延伸などもあり、今後もマンション建設が予定されている。

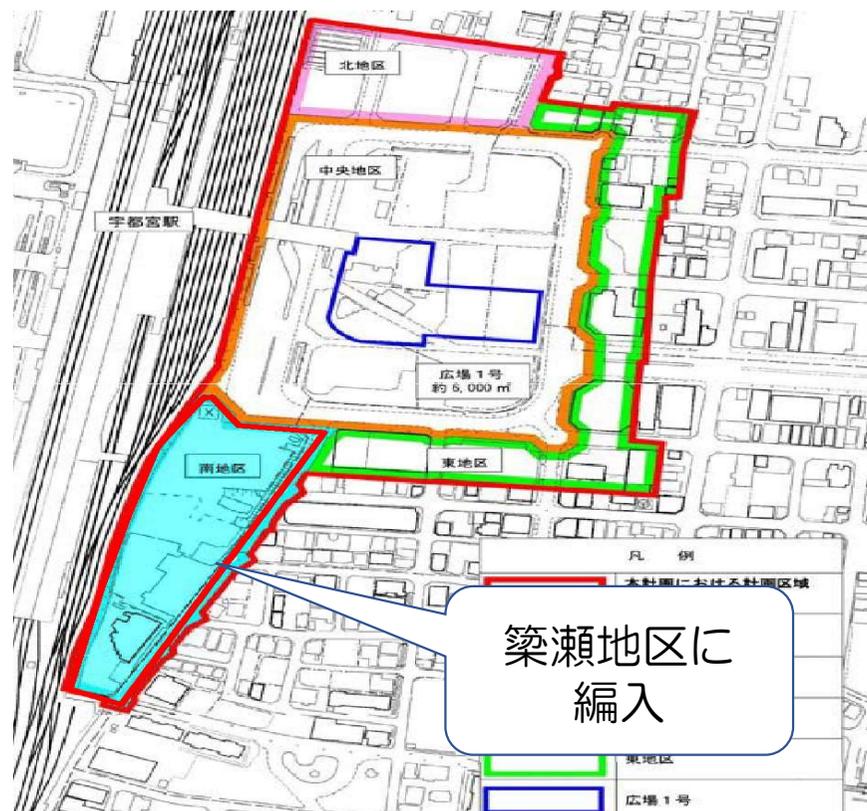
※ 延伸区間のうち、JR宇都宮駅から上河原交差点までが築瀬地区



3 JR宇都宮駅周辺の現状 ～マンション増加の背景について～

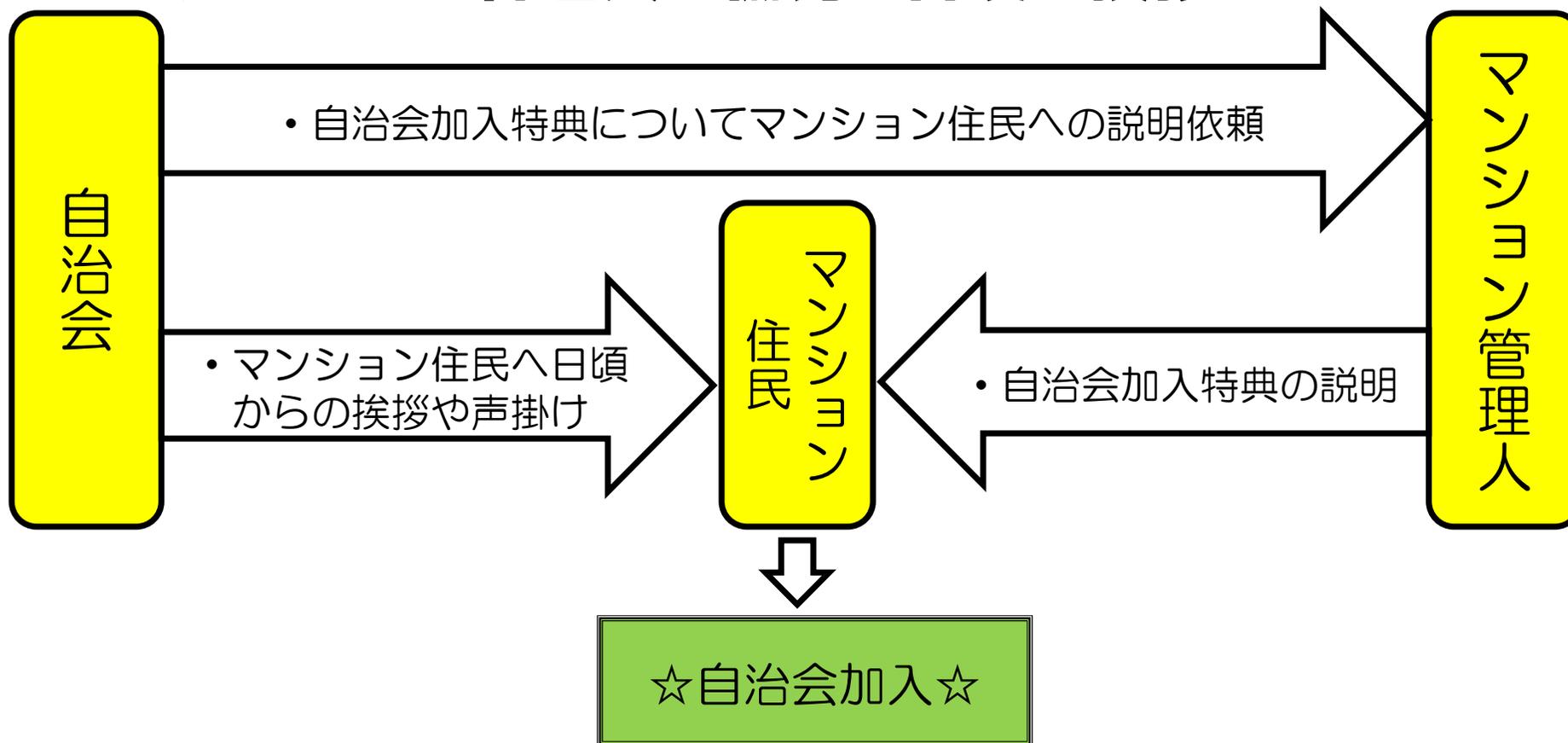
◇宮みらい地区について

- ・ 駅東地区整備事業等により新たに高層マンションが建築され、通学区域の関係から一部が築瀬地区に編入された。
- ・ ライトラインの開業により、今後もマンション住民が増える可能性がある。



4 マンション新築時の自治会加入促進

◇マンション管理人の協力と日頃の挨拶



4 マンション新築時の自治会加入促進

◇連合自治会の協力

- ・マンションが増加している自治会において、新規入会の受入れ体制が整っていない場合、連合自治会で受け入れを行っている。

築瀬地区は、住宅取得や家賃補助に係る補助金等の支給対象区域（高次都市機能誘導区域等）に含まれることから、区域内のマンションに転居し、自治会に加入※する住民が多い。

《対象補助金等》

- ・宇都宮市マイホーム取得支援事業補助金
- ・宇都宮市若年夫婦、子育て世帯及び新卒採用者等家賃補助金
- ・宇都宮市移住支援金
- ・宇都宮市結婚新生活支援事業

※自治会加入が補助金等の支給要件

【まとめ】

マンション新築時の自治会加入促進については、

- 自治会とマンション管理人の連携が大切
- 日頃からマンション住民に挨拶や声掛けを行い、顔の見える関係を築くことが大切
- 連合自治会の協力が大切

ご清聴ありがとうございました。